米商進路だより

令和３年 11 月８日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第 21 号）

《　県内高校生就職内定率 67.5％（９月末時点）　》

10 月 29 日（金）の山形新聞発表によると、**2022 年３月卒業予定の県内就職内定率が 67.5%となり、統計を取り始めた 1995 年度以降で過去最高となりました。**しかも、高校生対象の県内求人倍率も 3.27 倍と過去最高であり、各企業は高校生を採用し人材確保をしたい傾向が強くなっていることが分かります。次年度以降、コロナ感染症が減少傾向にあり、飲食店を中心にサービス業でも求人が増加する可能性が高いです。

業種別でみると、製造業が 18.3%増、卸・小売業が 9.0%増、運輸・郵便業が 27.9%増になっています。地元企業の採用担当者と話をする機会がありますが、新型コロナ感染症の影響を受けていない業界があり、半導体を中心に業績を伸ばしているそうです。また、アフターコロナを見据えて、Goto トラベルが再開されれば、観光業を中心に業績を回復する企業が多数あるとおっしゃっていました。

第２回目の進路希望調査を 11 月下旬に実施します。１年生は、２学期に入り地元企業を知る機会、講演会、さらには今週予定しているワクワクワークで仕事を体験することにより、働くことをイメージすることができるはずです。２年生もこれまでの企業見学や地域探究をする中で、企業の皆様から話を聞きましたので、是非地元就職も視野に入れてみて進路決定をしてみて下さい。

【　県内地域別の就職内定率　】

村山地区	最上地区	庄内地区	置賜地区
63.4%	73.9%	70.5%	70.7%

《　合格を目指して（進学希望者模擬面接）　》

11 月１日と２日に校内にて進学希望者の模擬面接を実施いたしました。「志望動機」「自己 PR」「在学中に取り組んでみたいこと」「卒業後の進路」等、過去の受験報告書を参考に、緊張感が漂う中で質問に丁寧に答えている３年生の姿が印象的でした。試験まで残された期日は僅かになりましたが、合格を目指して小論文等も含めて試験科目の学習に専念してほしいと思っています。

３年生の教室を活用し模擬面接官２名による面接の様子

《　最終回　１・２年生　進路達成へのアドバイス（本校教職員から）　》

先生方からのアドバイスですが今回で最終回となります。原稿を書いていただいた先生方に感謝するとともに、皆さんも進路達成に向けて、どんな些細（ささい）なことでもいいので“きっかけ”を大切にしてください。

私の高校生時代は今から何十年も前で、今とは人口や社会の状況、人々の考え方がずいぶんと違うものでした。入った高校が進学を前提としていたので、なんとなく流されるままに進学することになりましたが、今考えればよく親は許してくれたものだと思います。ただ、勉強することそのものは決して嫌ではなかったので、勉強というか研究のようなことをしたいとは思っていました。進路学習はありませんでした。文系と理系のクラスに分かれるときに、明確な希望がなかったので理系に進むことになり、そしてセンター試験の点数から第一希望を前期日程に受け第 2 希望(滑り止め)を後期日程で受けたのでした。結果的に第 2 希望の大学に進むことになりました。自分のことや大学のことなどあまり知らないままに入学したと思います。実は見学にすら行っていませんでした。それなのに、いやそれだからこそ、今生徒の皆さんには「自分をよく知る」「必ず見学に行く」「いろんな人のアドバイスを聞く」ことをしっかりするように言っているのです。よく考えないで進んでしまったとは思います。**後悔している訳ではないですが、違った考え方もあったのではないか、別の選択肢も考えればよかったのではないかと今思います。**（Ｉ先生）

高１の時、体育の先生から「将来体育の先生になったら？」とアドバイス。マネージャーなのに？確かに、努力しなくても運動はできた。しかし、私の中にはずっと語学への憧れがあった。肌の色、人種が違っても意思を共有できるツール。それが、言語だと考えていた。二次試験では全く手応えがなかったし、地元の大学には行く気はなかったので、さらに言語を学びたいと考え、フランス語学科を受験。同じような境遇の仲間と高い志を持って学んだ 4 年間だった。**消去法ではなく、自分を高める進路選択をさせてくれた両親にも感謝している。**そして今でも自分の語学力は足りないという自覚が、未完成なものを追い求める原動力になっていると思う。（Ｙ先生）

高校入学早々に苦手教科に見切りをつけ私立文系コースに進むも、国体前のスポーツ隆盛期で自宅学習時間よりも部活動時間の方が長く、受験した全ての学校から指名落ち、行先がないまま卒業した実感がわかないままに浪人生活に突入する。

苦手教科の克服と海外に行ってみたいという漠然とした夢に引きずられ、なんとか外語大学進学を果たすも、**ALL English の授業に体が拒絶反応を起こし早々に故障者リストに仲間入り、日の目を見ないまま卒業してしまいました。**

今思えば高校生の時にもっと自分を信じてとことん自分と向き合う力が足りなかったと思います。良い自分も悪い自分もひっくるめての自分という存在だということ。時期が早い遅いの違いはありますが、自分を信じれば必ず道は開ける。（Ｔ先生）

「大学には行きたい」と小さいころから思っていた。進学校に行けばいいものの、私の学力では足りず、商業科を選んだ。行きたい大学は何となく高校１年生の時から決めていたが、１年時の評定平均値がその大学の推薦値 0.1 及ばず。2 年と 3 年で苦しみながら何とか、推薦値を満たすことができたが、推薦要件の日商簿記 2 級も 2 回落ち、大学受験に間に合わず。全先生に心配されながらもなんとか（最低点に近い）合格し、無事大学も卒業できた。**周り道や悩むこともたくさんあると思いますが、すべて自分の成長につながっていると思うので、自分の信じた道を進むといいと思います。**（Ｔ先生）